

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

団体名 加美町

(単位:百万円)

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
3,106	5,959	437	9,501

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの 繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	12,731	12,484	246	206	228	20,608	基金繰入225
加美郡介護認定審査会特別会計	7	5	2	2	-	-	-
霊園事業特別会計	6	1	5	5	-	-	-
一般会計等	12,740	12,487	253	212		20,608	-

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額／不 足額(実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債(地方 債)現在高	左のうち一般会計 等繰入見込額	備考
国民健康保険事業特別会計	2,732	2,586	145	145	190	-	-	-
老人保健特別会計	328	279	49	49	25	-	-	-
後期高齢者医療特別会計	203	198	5	5	73	-	-	-
介護保険特別会計	1,963	1,865	98	98	285	-	-	-
介護サービス事業特別会計	9	8	1	1	6	-	-	-
町営駐車場事業特別会計	8	7	0	0	5	15	11	-
下水道事業特別会計	1,682	1,665	16	16	475	8,287	7,292	-
浄化槽事業特別会計	96	89	7	7	9	148	89	-
工業用地等造成事業特別会計	126	124	1	137	43	-	-	-
水道事業会計	503	492	11	801	3	1,360	-	法適用企業
公営企業会計等 計				1,259		9,810	7,392	-

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
3. 「資金剰余額／不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額／不 足額(実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債(地方 債)現在高	左のうち一般会計 等負担見込額	備考
宮城県市町村職員退職手当組合	19,550	18,656	894	894	3,467	-	-	-
宮城県市町村非常勤消防団員補償償還組合	763	760	4	4	-	-	-	-
宮城県市町村自治振興センター	136	130	6	6	-	-	-	-
宮城県後期高齢者医療広域連合 - 一般会計	1,830	1,803	27	27	14	-	-	-
宮城県後期高齢者医療事業会計	173,676	167,902	5,774	5,774	2,160	-	-	-
大崎地域広域行政事務組合	7,514	7,425	89	89	33	4,653	875	-
加美郡保健医療福祉行政事務組合 - 一般会計	450	447	3	3	0	32	18	-
加美郡保健医療福祉行政事務組合 - 病院会計	1,292	1,451	△ 159	199	318	2,386	774	法適用企業
加美郡保健医療福祉行政事務組合 - 介護事業会計	620	580	40	35	92	1,962	1,077	-
一部事務組合等 計				7,031		9,033	2,744	-

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
株式会社新田地域振興公社	2	13	4	-	-	-	-	-	出資割合29.2%
株式会社農業振興公社	△ 5	31	20	-	-	-	-	-	出資割合78.0%
株式会社陶芸の里宮崎振興公社	3	47	29	-	-	-	-	-	出資割合58.0%
加美郡土地開発公社	0	6	4	-	-	279	-	13	出資割合80.0%
大崎西部畜産公社	△ 2	196	34	1	-	-	-	-	出資割合44.6%
地方公社・第三セクター等 計			91	1	-	279	-	-	-

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	609	562	△ 47
減債基金	68	73	5
その他充当可能基金	0	763	763
充当可能基金	677	1,398	721

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	3.19	2.23	△ 0.96	△ 13.42	△ 20.00	水道事業会計	-	-	-
連結実質赤字比	15.77	15.49	△ 0.28	△ 18.42	△ 40.00	下水道事業特別会計	-	-	-
実質公債費比率	19.6	19.4	△ 0.2	25.0	35.0	浄化槽事業特別会計	-	-	-
将来負担比率	186.6	148.3	△ 38.3	350.0		工業用地等造成事業特別会計	-	-	-
財政力指数	0.34	0.33	△ 0.01						
経常収支比率	99.7	95.0	△ 4.7						

(注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示している。
2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。